

笑顔は
エネルギー!

「印象アップ」学ぶ 一月例議員勉強会

定例会のない月に行われている「月例議員勉強会」。7月は、「印象コーディネーター」の佐藤裕美氏を講師に、「相手を幸せにする印象アップ習慣」を学びました。

氏によると、作り笑顔も含めて笑顔には効果があり、ストレス解消や免疫力の向上につながるとのこと。そして、その笑顔が印象アップにつながるそうです。

講座では、印象アップのために、良い声を出すことやイキイキとした表情を作るためのレッスンを行いました。



講師の佐藤裕美さん

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 555 2017年7月23日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

器具の維持や小学生向け器具などに苦心



また、50〜85歳の中高年層を対象に、毎週1回の健康づくり教室を行っているほか、日曜日ごとの短期体操教室にも取り組んでいるとのこと。驚いたのは、それぞれの設備が高価なこと。鉄棒の棒が1本50万円、平均台の周囲のマットが1セット800万円とのこと。維持や交換の費用にはいろいろな苦心を重ねているとのことでした。

大潟体操アリーナを視察

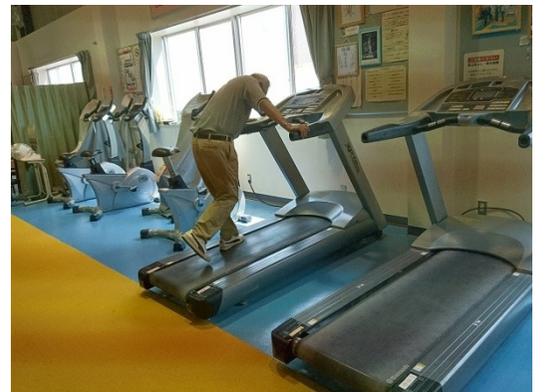
市は、大潟区に新しい体操アリーナを建設する計画を発表しました。その建設費用が23〜26億円にのぼるとのことが大きな議論になっていました。

日本共産党議員団はこのほど、現在の大潟体操アリーナの状況と、新アリーナ建設予定地を視察しました。

現在の大潟体操アリーナは、約1500㎡、鞍馬や跳馬、吊り輪など、器械体操の設備がそろっており、ほとんどが世界規格を満たす器具とのこと。また、独自の工夫をこらした小学生向けの器具も配置されており、早くから専門的な体操を練習できるように心がけているとのこと。

ここでは、地元の体操指導団体が約120人の小中高校生を指導しています。また、年間を通して体操団体の合宿を受け入れており、昨年度は28団体2660人を受け入れたとのこと。

2階にはウォーキングマシンやエアロバイクが設置されており、一般市民が気軽に運動できる環境もそろっています。



南口開設で利便性向上を確認

JR信越線の各駅を視察

日本共産党議員団は12日、JR信越線の各駅の様子を現地調査しました。

調査したのは、上下浜、潟町、土底浜、犀潟の各駅で、ホームの配置、券売機の設置状況、周辺の道路状況などを中心に状況を把握しました。

これらの駅のうち、上下浜駅では南側(上り線)ホームに直接入場できる通路を開設し、券売機を設置してほしいという要望が地元から出されています。現場を

確認すると、小規模な工事で要望が実現できそうな構造であることがわかりました。

なお、土底浜駅では、上下線のホームとも道路から直接入場でき、双方に券売機が設置されています。

犀潟駅でも、南口を開設してほしいという要望が早くから出されています。

現地を確認すると、南側には

線路に並行する道路が敷地に隣接して通っているほか、入り口を設置できるスペースもありそうです。ここに入り口があれば、利便性は大きく向上しそうです。



上下浜駅南側ホーム



犀潟駅南側ホーム